

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和3年7月20日(火) 午後1時30分～午後4時15分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について (2) 各施策についての点検・評価
4 資 料	次第、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、令和3年度教育委員会の点検・評価報告書(案)、令和2年度教育行政方針、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会結果について
5 出 席 者	細渕富夫委員長、橋本正晴委員、岡野育広委員 (関係所管出席者) 藤田指導1課長、浅見指導2課長、内野総合教育相談室長、山本高校教育課長、宮野健康教育課長、山本生涯学習振興課長、釜人權教育推進室長、青木文化財保護課長、引間青少年宇宙科学館長、高力博物館長、酒井うらわ美術館副館長、中村生涯学習総合センター副館長、樋爪中央図書館管理課長、尾崎資料サービス課長 (事務局) 野津管理部参事、玉崎教育政策室長、片倉教育政策室長補佐、石原教育政策室主幹、鐘ヶ江教育政策室主任
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p><開 会> 13時30分開会 ※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題(1) 第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について 事務局から、第1回さいたま市教育行政点検評価委員会の結果について説明後、各委員へ内容等に誤りがないか確認を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、了承された。</p> <p>議題(2) 各施策についての点検・評価 令和3年度教育委員会の点検・評価報告書「IV 点検・評価の結果(令和2年度事業対象)」のうち、「2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成」「3 人生100年時代を輝き続ける力の育成」「4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」の30事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。</p> <p>【説明】 [IV 点検・評価の結果(令和2年度事業対象)] <2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成> 1-(1) グローバル・スタディの充実 1-(2) グローバル人材を育成する中等教育学校の整備 1-(3) 主権者教育の推進</p>

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- 1-(4) SDGsの実現を目指した持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
- 1-(5) オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際性・社会性の育成
- 1-(6) 未来（みら）くる先生を活用したキャリア教育の推進
- 1-(7) 未来（みら）くるワーク体験（中学生職場体験事業）の推進
- 2-(1) 道徳教育の推進
- 2-(2) 心のサポート体制の推進
- 2-(3) スクールソーシャルワーカーの拡充
- 2-(4) SOSの出し方に関する教育の推進
- 2-(5) スクールロイヤーや外部専門家と連携した「いじめ防止対策」の充実
- 2-(6) 人権教育の推進
- 3-(1) 子どもたちの体力向上の推進
- 3-(2) オリンピック・パラリンピック教育を通じた体力向上の推進
- 3-(3) 学校・家庭・地域が連携した食育の推進
- ◆教育委員会の自己評価（教育政策室）
- < 3 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >
- 1-(1) 公民館を通じた生涯学習環境整備の推進
- 1-(2) 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進
- 1-(3) 生涯学習人材バンクの推進
- 1-(4) 文化財保護の推進
- 1-(5)-1 博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進（博物館）
- 1-(5)-2 博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進（うらわ美術館）
- 1-(5)-3 博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進（青少年宇宙科学館）
- 1-(6) 学びのネットワークの推進
- 1-(7)-1 生涯学習関連施設と学校との連携の推進（博物館）
- 1-(7)-2 生涯学習関連施設と学校との連携の推進（うらわ美術館）
- 1-(7)-3 生涯学習関連施設と学校との連携の推進（青少年宇宙科学館）
- 1-(7)-4 生涯学習関連施設と学校との連携の推進（生涯学習総合センター）
- 1-(7)-5 生涯学習関連施設と学校との連携の推進（中央図書館資料サービス課）
- 1-(8) 公民館・図書館施設リフレッシュの充実
- ◆教育委員会の自己評価（教育政策室）
- < 4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実 >
- 1-(1) コミュニティ・スクールの充実
- 1-(2) スクールサポートネットワークの推進
- 1-(3) チャレンジスクールの充実
- 1-(4) 学校安全ネットワークの推進
- 2-(1) 「自分発見！」チャレンジupさいたまの推進
- 2-(2) すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上キャンペーンの推進
- ◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

【主な意見及び質疑】

< 2 グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成 >

1-(1) グローバル・スタディの充実

(岡野委員)

- ・グローバル・スタディの充実を図るための具体的な取組について説明してほしい。

(高校教育課)

- ・大宮国際中等教育学校では、3つのG（やり抜く力、成長し続ける力、世界に視野を広げる力）をバランスよく身に付ける指導をしている。また、国際バカロレア教育に係る活動を導入し、探究学習に各教科で取り組むことで、国際的な視野に立って多様性を理解して研究し続ける「真の学力」をはぐくんでいる。

(指導1課)

- ・本市の英語力は全国でも高い評価を得ている。特に、会話的学習では、英語力だけでなく、コミュニケーション力も身に付いていると実感している。

(岡野委員)

- ・引き続き、グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指し、本市独自の英語教育「グローバル・スタディ」の充実を図ってほしい。

(細淵委員長)

- ・海外の大学における教員研修のプログラムや期間について説明してほしい。

(指導1課)

- ・グアム大学にて、小学校の教員が1週間程度の研修を予定している。また、プログラムについては、さいたま市独自のものを提案してもらっている。

(細淵委員長)

- ・小学校教員の英語力向上のため、英語の2種免許の取得など、採用や研修について説明してほしい。

(指導1課)

- ・小学校の教員については、グローバル・スタディ専科の教員の採用や英語力向上の研修会を通じて英語力の向上に努めている。

(教育政策室)

- ・小・中学校の両方の教員免許取得者については、それぞれに派遣できる制度もあり、その制度も活用している。

(細淵委員長)

- ・教員の海外の大学における研修の検討をはじめ、研修や研究を充実させることで、教員の英語力、指導力の向上を図ってほしい。

1-(5) オリンピック・パラリンピック教育を通じた国際性・社会性の育成

(岡野委員)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になった取組について説明してほしい。

(指導1課)

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- ・学校連携観戦チケット事業等は中止になってしまったが、代替としてオリンピックに出場する予定のさいたま市にゆかりのある選手が出演する動画の観賞等で、チャレンジ精神をはじめとした、様々な価値観を学ぶことができる取組を実施した。

(岡野委員)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けた事業もあったが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会という貴重な機会を生かしたその他の取組を進め、国際性や社会性をはぐくんでほしい。

1-(7)未来(みら)くるワーク体験(中学生職場体験事業)の推進

(橋本委員)

- ・未来(みら)くるワーク体験が実施できなかった児童生徒の今後の対応について説明してほしい。

(生涯学習振興課)

- ・キャリア教育に関するリーフレットの作成・配布や、リーディングエッジ企業の紹介等、今後受け入れができるよう準備を進めている。

(橋本委員)

- ・未来(みら)くるワーク体験については、コロナ禍で実施が難しい面もあると思うが、各学校・企業の実情に合わせ、本事業の趣旨を踏まえた代替案等も含め、職場体験ができるよう取り組んでほしい。

2-(1)道徳教育の推進

(橋本委員)

- ・児童生徒に、他者と共によりよく生きる基盤となる道徳性を養うため、例えば、表彰制度を取り入れるなど、様々な取組を研究しながら、更なる道徳教育の推進を図ってほしい。

2-(2)心のサポート体制の推進

(岡野委員)

- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、さわやか相談員それぞれの役割分担について説明してほしい。

(総合教育相談室)

- ・スクールカウンセラーは心理の専門家で児童生徒または、保護者のカウンセリングを対面で行う。スクールソーシャルワーカーは福祉の専門家で様々な相談を受け、関係機関に繋げることで支援している。さわやか相談員は各中学校で毎日勤務しており、身近な相談窓口として、気軽にいつでも相談できる場所として児童生徒の支援を行っている。

(岡野委員)

- ・学校の教育相談体制については、スクールカウンセラーの全ての市立学校の配置に加えて、SNSの活用による相談窓口の開設など、充実した体制がとられており、引き続き、児童生徒が相談しやすい環境の構築に努めてほしい。

(細淵委員長)

- ・学校を側面から支えるスクールカウンセラー等については、より良い人材の確保を図るとともに、各学校に安定して配置・派遣できるよう努めてほしい。

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

2-(3) スクールソーシャルワーカーの拡充

(橋本委員)

- ・スクールソーシャルワーカーへ寄せられる相談内容について説明してほしい。

(総合教育相談室)

- ・スクールソーシャルワーカーは、特に学校だけでは対応が難しい相談内容について、区役所の福祉課、支援課、児童相談所と連携しながら、支援をしている。また、相談内容の個別具体の詳細は伏せるが、家庭内のトラブルや、経済的支援が必要な場合等がある。

(橋本委員)

- ・引き続き、スクールソーシャルワーカーを全ての市立学校に配置・派遣することに加えて、スクールソーシャルワーカー地域連携会議の開催などの各取組を通じて、児童生徒の置かれた様々な環境にきめ細かに寄り添う支援を行ってほしい。

3-(1) 子どもたちの体力向上の推進

(岡野委員)

- ・「新体力アップメニュー」の活用などの各取組を推進し、児童生徒の運動の習慣化や体力の向上が図れるようにするとともに、指導方法や実技に関する研修会を通じて、引き続き、教員の指導力の向上を図ってほしい。

3-(2) オリンピック・パラリンピック教育を通じた体力向上の推進

(岡野委員)

- ・「beyond2020 マイベストプログラム」の実施後も、その取組を継続し、児童生徒が目標をもって運動に取り組めるようにしてほしい

< 3 人生100年時代を輝き続ける力の育成 >

1-(1) 公民館を通じた生涯学習環境整備の推進

(橋本委員)

- ・コロナ禍においても、オンライン講座の実施など、取組方法を工夫することで、引き続き、「地域の学びの拠点」として重要な役割を果たしてほしい。

1-(2) 図書館を通じた生涯学習環境整備の推進

(岡野委員)

- ・さいたま市図書館ビジョンの概要について説明してほしい。

(資料サービス課)

- ・さいたま市図書館ビジョンは(第2期)は、令和3年から10年間の計画で、4つの基本的方向性として、「知りたいにこたえる」、「本と人とをつなげる」、「子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ」、「つながりから地域の未来をひらく」と定めている。また、さいたま市独自の取組としては、毎月23日を「さいたま市子ども読書の日」として、図書館が中心となり様々な機関と連携して普及啓発を図りながら、子どもの読書活動を推進している。

(岡野委員)

- ・図書館ビジョンの掲げる基本理念「本と人 人と人が出会う『知のひろば』」の実現に向け、幅広く資料収集したり各種講座を開催したりするなど、「地域の知の拠点」として市民が質

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

の高い生涯学習に取り組めるよう、努めてほしい。

(細淵委員長)

- ・障害のある方の情報保障について説明してほしい。

(資料サービス課)

- ・国が策定した「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づき、さいたま市では、福祉部障害政策課が「さいたま市障害者総合支援計画」を策定している。図書館としては障害政策課と連携し、各種取組を進めている。具体的には、視覚障害者等の資料作成の人材育成の講習会の開催や、デジ資料の収集、宅配サービス等、障害者用の資料の充実や環境整備に努めている。

(細淵委員長)

- ・障害のある方の読書環境の推進に当たっては、点字資料等の図書資料の更なる充実を図るなど、環境整備をより一層進めてほしい。

1-(4)文化財保護の推進

(岡野委員)

- ・市内には多くの観光資源である各種文化財が存在するので、それらについても保存・活用を進め、更なる市の個性や魅力を発信してほしい。

1-(8)公民館・図書館施設リフレッシュの充実

(橋本委員)

- ・公民館・図書館施設については、地域や時間によっては混雑する状況もあるため、引き続き、利便性の向上を図るとともに、安全・安心な学習環境の整備に努めてほしい。

<4 スクール・コミュニティによる連携・協働の充実>

1-(1)コミュニティ・スクールの充実

(岡野委員)

- ・コミュニティ・スクールについては、試行錯誤の中での実施だと思うが、仕組みをより周知するとともに、全校実施に向け、「地域とともにある学校づくり」をより一層推進してほしい。

1-(3)チャレンジスクールの充実

(橋本委員)

- ・コロナ禍の影響により、中止や縮小した取組もあるが、チャレンジスクールは、地域と学校が連携・協働して様々な活動をすることで地域住民と交流ができるよい事業なので、子どもたちのニーズに応じた満足度の高い活動の充実に向け、感染症対策を講じながら、一層推進してほしい。

1-(4)学校安全ネットワークの推進

(橋本委員)

- ・通学区域の安全性を高めるため、登下校の巡回活動を更に強化していくに当たり、例えば人員の増員など、活動に係る補助や助成について検討してほしい。

2-(1)「自分発見！」チャレンジup さいたまの推進

令和3年度
第2回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(橋本委員)

- ・体験活動やボランティア活動について、児童生徒や保護者に向け、各種媒体を活用し広く周知することで、より多くの児童生徒が参加できるようにしてほしい。

<閉 会> 16時15分閉会

【問合せ先】 教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626